

# 絵を言葉に、言葉を絵にしよう

～ 必要な情報を集めよう ～

2年 美術

「名画にチャレンジ」

資料の活用(情報の整理・表現)

ねらい

- 名画の模写を通して関心を持ち、その名画を自分の言葉で表現し鑑賞を深める。
- 絵画の特徴(技法・素材)、画家の生涯、時代背景などの視点で資料を探ることができる。

## 学 習 展 開 . . . . .

- ① 美術資料集の中から好きな名画を模写する。
- ② 図書資料を使い模写した名画の情報を探し、情報カードに書き出す。
- ③ 1冊の文献だけを鵜呑みにするのではなく、複数の文献を参考にすることを押さえる。
- ④ 集めた情報カードを整理分析し、名画を自分の言葉で紹介できるようまとめシートに書く。
- ⑤ 名画の紹介を聞き、その言葉を頼りに絵を描く。



美術資料を活用する生徒



図書館で美術の授業をする教科担任

### ◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書は事前に生徒からレファレンスを受ける。自校にない資料は公共図書館や他校から借り入れ準備する。
- 司書教諭は授業者に情報カードの活用を提案する。
- 学校司書は他館から借りた有効資料を購入検討資料としてリストにあげる。
- 学校司書は授業者と協力して作品を掲示する。

### ★指導のポイント

- ◆ 画家名だけでなく絵の特徴や、年代で資料を探ることができる。
- ◆ 資料を丸写しせず、必要なことを抜き出し要約できる。
- ◆ 情報カードに参考文献の記入ができる。
- ◆ まとめシートの効果的構成・順番を考える。

## 資料

「101人の画家」/早坂優子(視覚デザイン研究所)、「教科書に出てくる日本の画家」シリーズ(汐文社)  
 「巨匠に教わる絵画の見かた」「巨匠に学ぶ配色の基本」「巨匠に学ぶ構図の基本」(視覚デザイン研究所)、  
 「印象派美術館」(小学館)、「ルネサンス美術館」(小学館)、「ちいさな美術館めぐり」シリーズ(G.  
 B.)「世界の名画」シリーズ(中央公論社)など